



## 報道発表資料

山形労働局発表  
令和4年5月17日（火）

担 当	山形労働局労働基準部健康安全課		
	健康安全課長	阿部 浩志	
	課長補佐	木村 勝則	
	TEL 023-624-8223		
	FAX 023-624-8235		

### 「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を展開中です ～ 7月は「重点取組期間」です。 熱中症予防対策の徹底を！ ～

山形労働局（局長 小森 則行）では、職場における熱中症<sup>\*1</sup> 予防対策の一層の推進を図るため、「令和4年 STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」（以下「キャンペーン」という。）（準備期間：4月、実施期間：5月から9月）を展開しています。

山形県内では、令和3年8月に熱中症による死亡災害が発生しました。また、休業4日以上死傷災害を見ると、平成30年以降は毎年10人以上の労働者が仕事上の熱中症により被災し、令和3年においては過去最高の29人が被災しているなど、長期的に増加傾向が認められる状況です。（資料1参照）

熱中症の発生と気温、湿度等の気象状況には因果関係があることから、熱中症を予防するためには、気象情報等を確認する体制を構築し、WBGT 値(暑さ指数)<sup>\*2</sup> の把握等に基づく対策の徹底が求められるほか、休憩場所の整備等の作業環境管理、作業時間の短縮等の作業管理、労働者の健康管理、労働衛生教育などが必要です。

また、気象庁仙台管区气象台が4月19日に発表した東北地方の向こう3か月（5月～7月）の天候の見通しにおいては、平均気温が「高い見込み」となっているなど、今夏も厳しい暑さになることが予想されます。特に気温や湿度の高い作業環境等においては、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じつつ、熱中症予防対策をより一層推進する必要があります。

#### ・令和4年「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」

厚生労働省では、「職場における熱中症予防基本対策要綱」（資料2参照）に基づく基本的な熱中症予防対策を示しているほか、毎年「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」（以下「キャンペーン」という。）を実施しています。

山形労働局では、キャンペーン期間中における重点事項を示し、職場における熱中症予防対策の徹底を図るため、令和4年3月3日付けで、県内87の関係機関・団体（労働災害防止団体、建設工事発注者等）に対し、関係事業場への周知等を要請しています。

また、キャンペーンの「重点取組期間」となる7月を前に、熱中症による災害発生状況や各種対策等を周知し、熱中症予防対策の徹底を呼びかけています。（資料3参照）

令和3年の全国の職場における熱中症の発生状況（速報値）を見ると、キャンペーン期間中の死亡者数は5月に1人、7月に7人、8月に12人の計20人（年間20人）で、令和2年と比較して2人減少しました。しかしながら、死亡者数が毎年20人以上という状況が平成30年以降続いています。（資料4参照）

#### ・職場における熱中症予防情報（熱中症ポータルサイト）

厚生労働省では、上記内容や社内教育用動画教材等を含めた熱中症予防等に係る各種情報を掲載したポータルサイトを運営し、広く周知等を図っています。（<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>）（資料5参照）

## ※1 熱中症とは

熱中症は、高温多湿な環境下において、体内の水分及び塩分（ナトリウム等）のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻する等して、発症する障害の総称。

めまい・失神、筋肉痛・筋肉の硬直、大量の発汗、頭痛・気分の不快・吐き気・嘔吐（おうと）・倦怠（けんたい）感・虚脱感、意識障害・痙攣（けいれん）・手足の運動障害、高体温等の症状が現れる。

## ※2 WBGT 値（暑さ指数）とは

WBGT（Wet-Bulb Globe Temperature：湿球黒球温度（単位：℃））の値は、気温に加え、湿度、風速、輻射（放射）熱を考慮した暑熱環境による熱ストレスのレベルの評価を行うことにより、熱中症の発症リスクの有無をスクリーニングする指標。

資料 1 山形県における熱中症による死傷災害発生状況

資料 2 職場における熱中症予防基本対策要綱

資料 3 令和 4 年「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」実施要綱及びリーフレット

資料 4 令和 3 年 職場における熱中症による死傷災害の発生状況（速報値）

資料 5 熱中症ポータルサイト ホームページ画面（URL：<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>）